

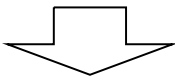
山形県学校安全総合支援事業

(文部科学省：学校安全総合支援事業)

事業費：458千円

【背景】

- 近年激甚化している地震や集中豪雨などの自然災害の発生をはじめ、学校安全に関する事故や事件が多様化。
- 学校や地域、関係機関等が連携・協力し、総合的かつ効果的な安全対策を推進する必要がある。



【酒田市】モデル地域の設定

- ・各学校の立地している地形や地質などの自然環境や社会条件を踏まえた防災教育の更なる充実

★酒田市

- ・酒田市一斉総合防災訓練の実施するなど、全市を挙げて市民の防災意識を醸成
- ・最上川の下流域で海沿いに位置し、地震の際には津波の被害もある

- 県教育委員会は、学校防災アドバイザーを委嘱し、モデル地域の拠点校における授業実践や避難訓練、教職員研修、推進会議等にアドバイザーを派遣する。
- ※『学校防災アドバイザー』とは、防災に関する専門的知見があり、学校や教育委員会に対し、具体的な対策や改善策を助言する大学教授等の有識者。

【山形県】学校防災アドバイザーの派遣

派遣

【モデル地域内の拠点校】

- 拠点校における防災授業や避難訓練を実践し、学校防災アドバイザーから教職員研修等での指導・助言。
- 県内全域にモデル校公開授業の実施。

【防災教育研修会】

- 年2回、各校の学校安全の中核を担う教職員に対して拠点校における授業実践や避難訓練、教職員研修等の実践を基に研修を実施。

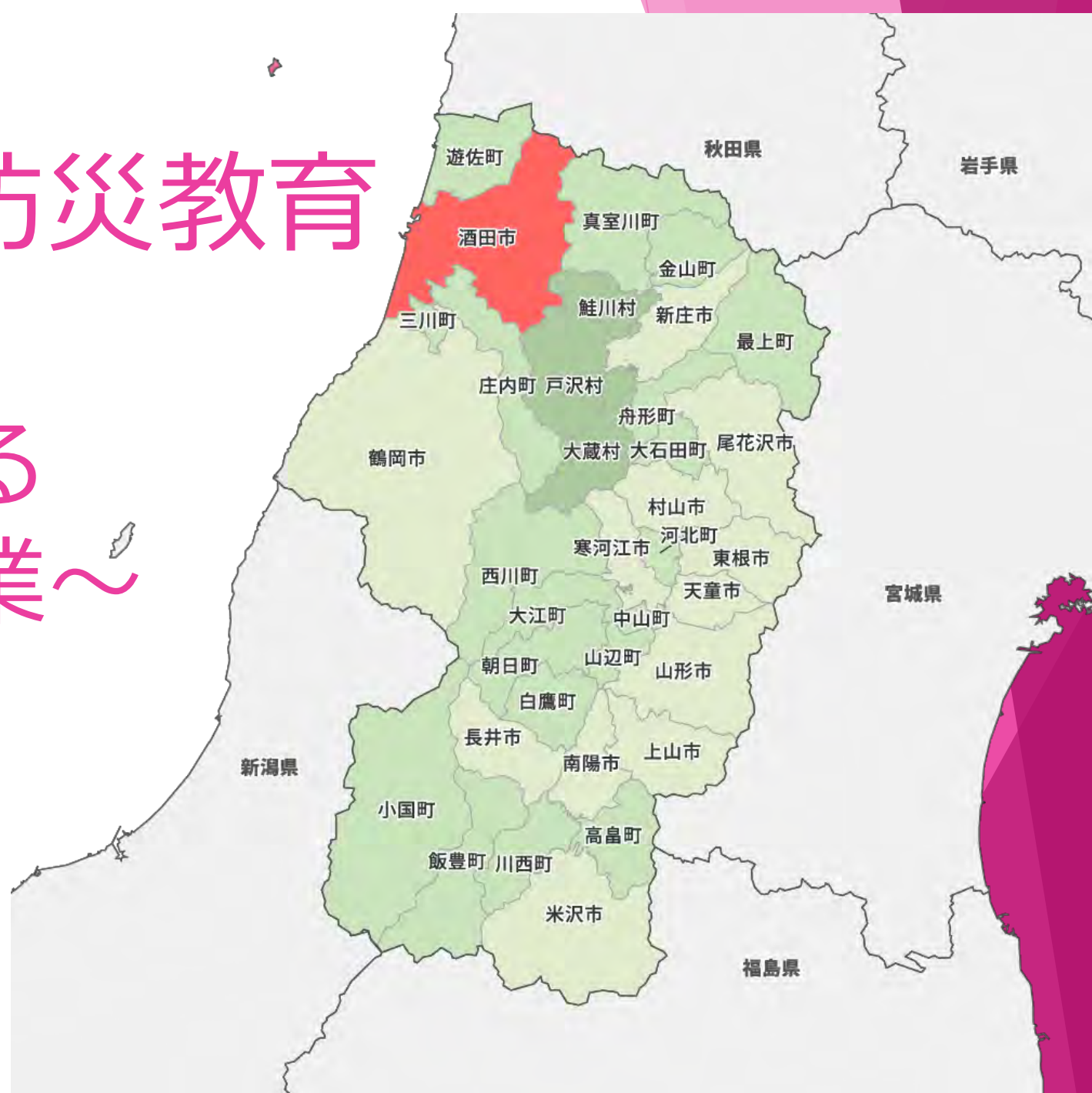
【成果】

- ・児童生徒だけではなく、教職員の防災意識が高まった。
- ・日頃の安全教育・管理や危機発生時における各教職員の役割について、共通理解を図っている学校が増えた。
- ・学区の特色を活かした実践的な避難訓練を通じて、適切な避難行動ができた。
- ・教職員も新しい知見を踏まえた正しい知識を理解し、防災教育の推進ができた。 など

☆来年度はモデル地域を拡充し、県全体の防災に対する意識の向上に取り組む。

山形県酒田市の防災教育

～子どもの命を守る
安全対策事業～



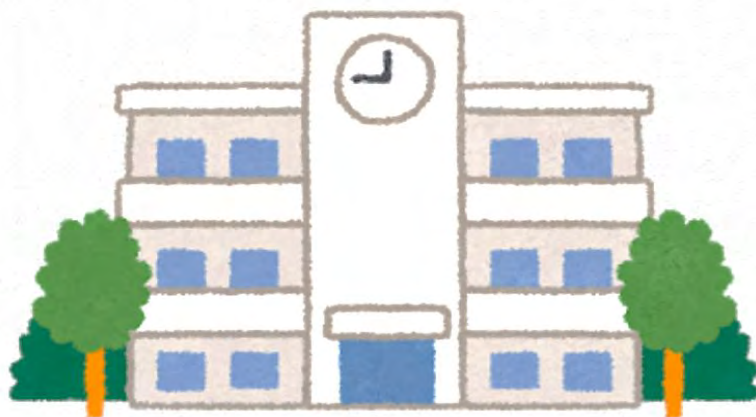
令和5年度から山形県学校安全総合 支援事業のモデル地域として認定

子どもの命を守る
安全教育推進会議



電子版「防災ハンド
ブック」検討会議

防災アドバイザー
派遣事業



防災教育研修会

ジュニア救命救急講習会
教職員向け救命救急講習会



酒田市の防災教育

～子どもの命を守る安全対策事業～

1. 防災教育研修会
2. 防災アドバイザー派遣
3. 学校防災マニュアルの
見直し

1. 防災教育研修会

目的：児童生徒への防災教育
及び教職員への防災管理研修

回数：2回／年（7月、1月）

1. 防災教育研修会

実施内容

①防災に関する**授業づくり**や

電子版酒田防災ハンドブックの活用等

について話題にしたグループワーク等

②防災アドバイザーの村山良之先生に

よる指導・助言



1. 防災教育研修会

電子版「酒田防災ハンドブック」

を活用した授業づくり

しょうがっこう ねんしゃかい しぜんさいがい まも きょうかしよ
(1) 小学校4年社会:「自然災害からくらしを守る」(教科書72ページ~)



やまがたけん しぜん
山形県では、これまでにどんな自然
さいがい お
災害が起きてきたでしょうか。



ちようかいざんふんか
鳥海山噴火

かこ さいがい
過去の災害

やまがたけん お しぜんさいがい
<山形県で起きたおもな自然災害>

1964年	にいがたじしん 新潟地震	きかたしほか 酒田市他
1967年	う えつすいがい 羽越水害	おぐにまちほか 小国町他
1974年	ちようかいざんふんか 鳥海山噴火	ゆ さ まちほか 遊佐町他
2013年	なんようごう 南陽豪雨	なんようしほか 南陽市他
2014年	なんようごう 南陽豪雨	なんようしほか 南陽市他
2018年	とぎわごう 戸沢豪雨	とぎわむらほか 戸沢村他
2019年	やまがたけんおきしん 山形県沖地震	つるおかしほか 鶴岡市他
2022年	おいたまごう 置賜豪雨	いいでまちほか 飯豊町他
2024年	しょうないごう 庄内豪雨	きかたしほか 酒田市他

まも
くらしを守るために、だれがど
のようなことをしているのだ
しょうか。

かてい
家庭では
ひじょうも だ ぶくろ じゅんぶ
非常持ち出し 袋の準備
がっこう ちい き
学校や地域では
さ ま ざ ま な 避難訓練
ひなんくんれん
酒田市では
し ぼうさいけいかく
市防災計画、ハザードマップ
けん く に
県や国では
けんせつ かわざし こうじ
ダムの建設、川岸の工事

【先生方へ】防災教育充実のために

電子版酒田防災ハンドブックのご紹介

酒田防災ハンドブック

備えのページ
避難訓練の事前事後指導に
「避難場所の確認」「身を守る基本動作」等、災害に備える情報が載っています。リンクでさらに詳しく学べます。

学びのページ
教科学習の補充指導に
社会や理科等の教科学習に関連する内容が載っています。小学校の学習、中学校の学習どちらにも対応しています。

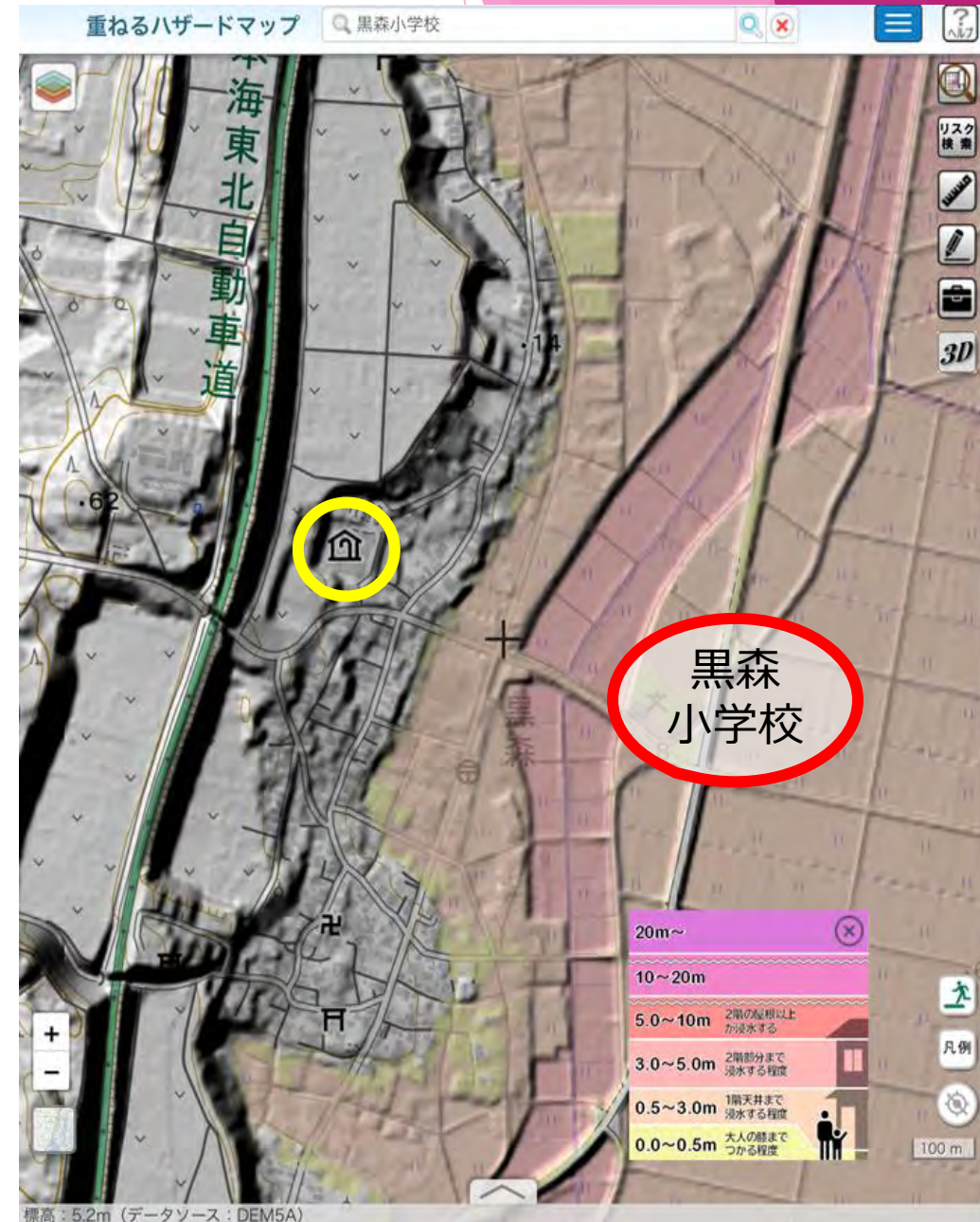
学びのページ
酒田編
地域の災害を学ぶために
酒田大火や東日本大震災等、地域の災害について学ぶページです。近年頻発する「記録的短時間大雨」も載っています。

電子版の特長は？

- リンクが充実していて、発達段階に応じて学びを深めることができます。
- 児童生徒のタブレットで活用したい。
- 市のポータルサイトにデータ(pdf版)があります。コピーしてご利用下さい。
- 活用事例を知りたい。
- 市のポータルサイトに各校防災主任等作成の活用事例を掲載しています。
- ハンドブックの内容をさらに充実してほしい。
- 年間2回の電子版「防災ハンドブック」内容検討会議を経て毎年更新していきます。

防災教育研修会より

①学校周辺の地理的
特性を知ること
⇒「重ねるハザード
マップ」の活用



防災教育研修会より

②マニュアル化された 避難訓練の見直しを

実態に合わせた避難訓練となるよう、**目的を明確にすること**や各校で避難訓練のやり方を再検討すること。

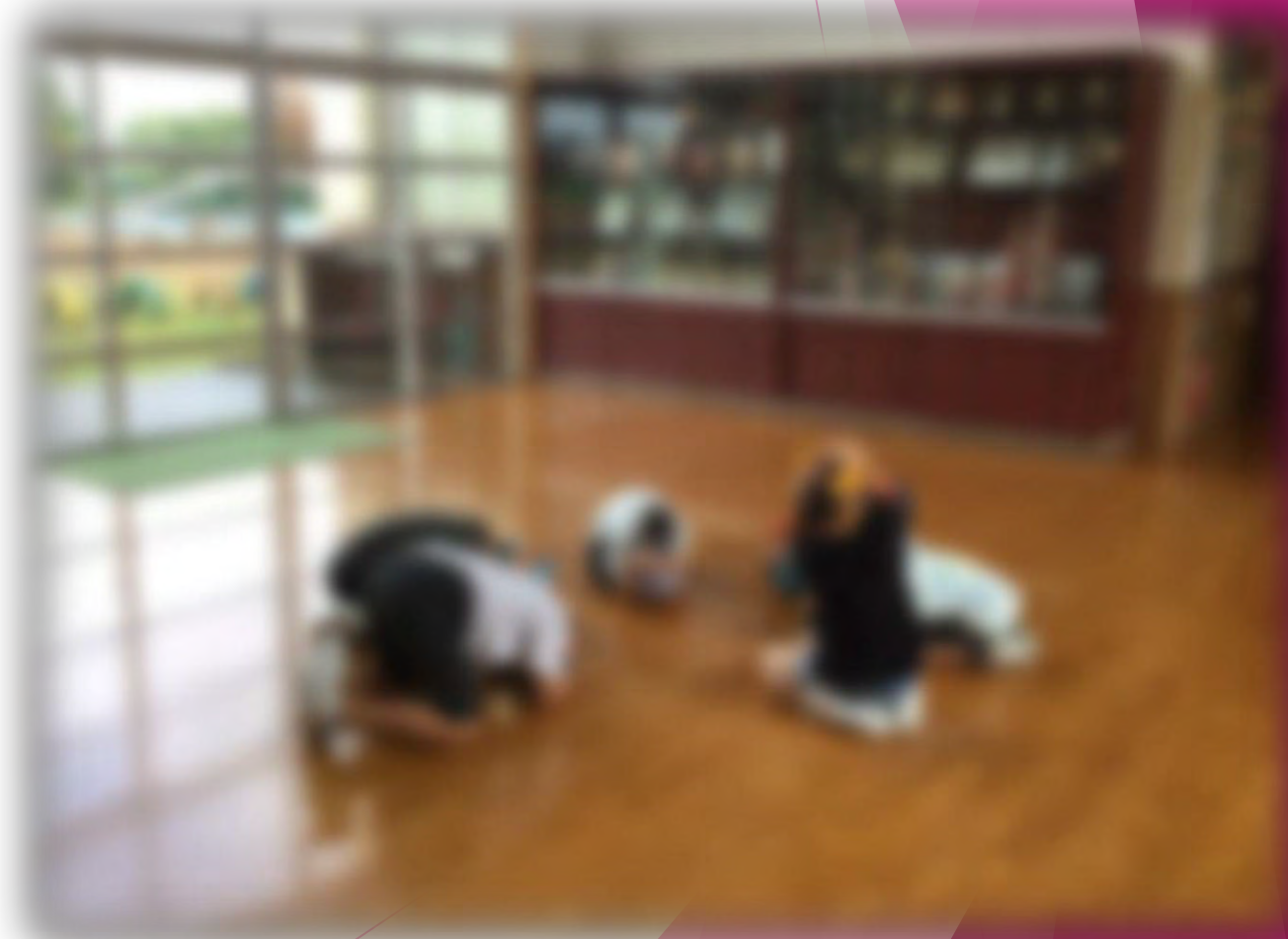


2. 防災アドバイザー派遣 について



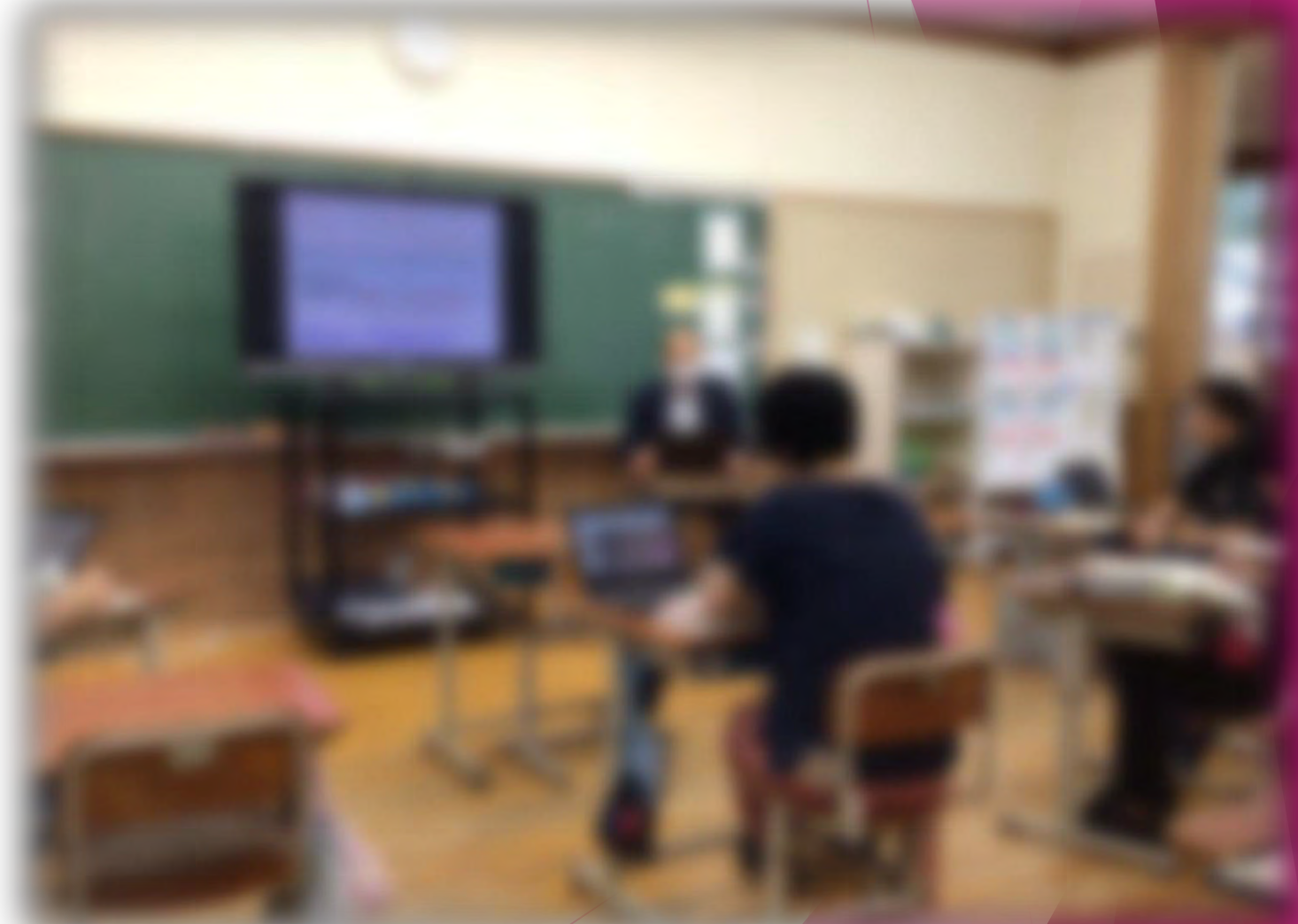
防災アドバイザー派遣の目的

- ①災害時における児童生徒の危険回避能力と日常生活の安全に関する知識や対応・行動の仕方についての実践的な能力を育成すること。



防災アドバイザー派遣の目的

- ②防災教育を含めた
安全教育に携わる
教職員の資質の向
上と各校における
防災管理体制の見
直しを図ること。



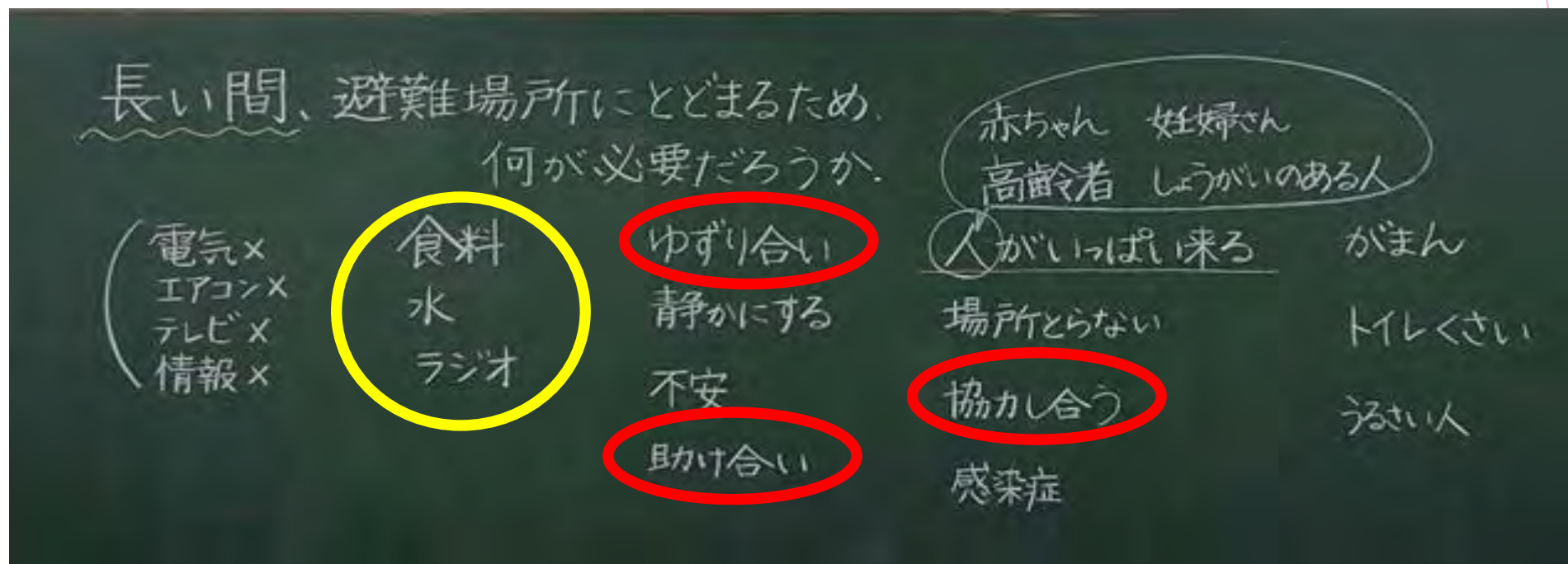
防災アドバイザー派遣

H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
①平田小 ②松山小 ③八幡小 ④新堀小 ⑤第三中 ⑥富士見小	①広野小 ②泉小 ③西荒瀬小 ④田沢小 ⑤若浜小 ⑥第一中	①松原小 ②黒森小 ③鳥海小	①浜田小 ②浜中小 ③第四中 ④亀ヶ崎小 ⑤宮野浦小	①松陵小 ②第六中 ③南平田小 ④一條小 ⑤鳥海八幡中	①琢成小 ②富士見小 ③平田小 ④十坂小 ⑤松山小 ⑥東部中	①新堀小 ②広野小 ③八幡小 ④若浜小 ⑤泉小 ⑥第三中	①鳥海小 ②松原小 ③黒森小 ④西荒瀬小 ⑤第一中 ⑥第二中

酒田市内の各小中学校へ防災アドバイザーが訪問し、各校の地理的特性に応じた指導、助言を行っている。

(1) 酒田市立松原小学校

避難訓練後、全クラスで担任が授業
(事後指導) を行った。



○防災アドバイザー
と共に授業づくり
⇒学校が主体となる
防災教育

いつもと違う環境によるストレスにプラスして
食料不足や病気などにより亡くなって
しまつ。
~化養見~

〆化表見〜
 不眠で土くぼる。
 ショックで食べたハエす
 土くなる。

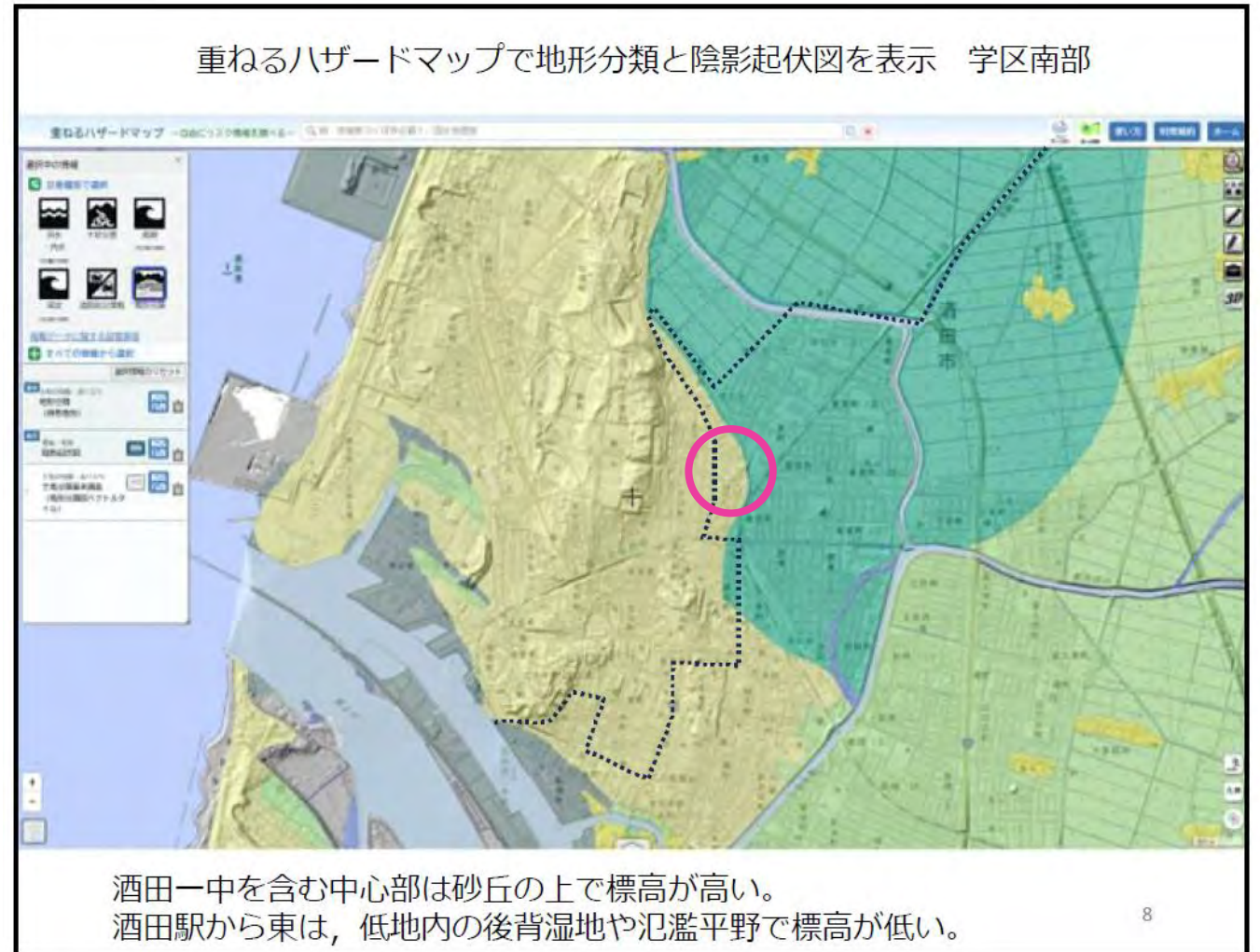
不安になっている人がいたら優しく
声をかけて、よりそう。

～他意見～
他の人としゃべる。
備蓄をする。



②酒田市立第一中学校

○学校が指定緊急避難場所であるからこそ、**留め置きも想定されることを保護者と共有すべき**



防災アドバイザー派遣

<成果>

- 教職員が災害安全に関する授業づくりと実践の積み上げ
- 避難訓練の在り方を形式的なものから脱却した実践の積み上げ

<今後に向けて> ⇒ 学校が自走する

- 防災学習に関する**授業づくりのスキルアップ**
- 「重ねるハザードマップ」や「キキクル」等の
より実践的な活用

3. 学校防災マニュアル の見直しについて



酒田市公式ウェブサイトより

(1) 令和6年7月25日の豪雨について

- 想定を超える豪雨であり、気象庁の情報や自治体からの情報が間に合わなかった。
- 小中学校では、保護者への引き渡しが前提となる対応が取られた。
- 地域の実情もあり、共通した対応を取ることが難しい実態があった。

酒田市

7/25

08:29避難指示

(八幡, 松山, 平田)

11:12避難指示 (全市)

14:05緊急安全確保

(八幡)

19:05緊急安全確保

(西荒瀬)

7/26

02:10緊急安全確保

(亀ヶ崎, 港南, 松原, 中平田, 南部, 松陵, 内郷, 南平田, 砂越・砂越緑町)

02:58緊急安全確保

(錦町1-5丁目)

気象庁

7/25

08:15大雨警報 (土砂)

08:27土砂災害警戒情報 (八幡)

08:35土砂災害警戒情報 (全市)

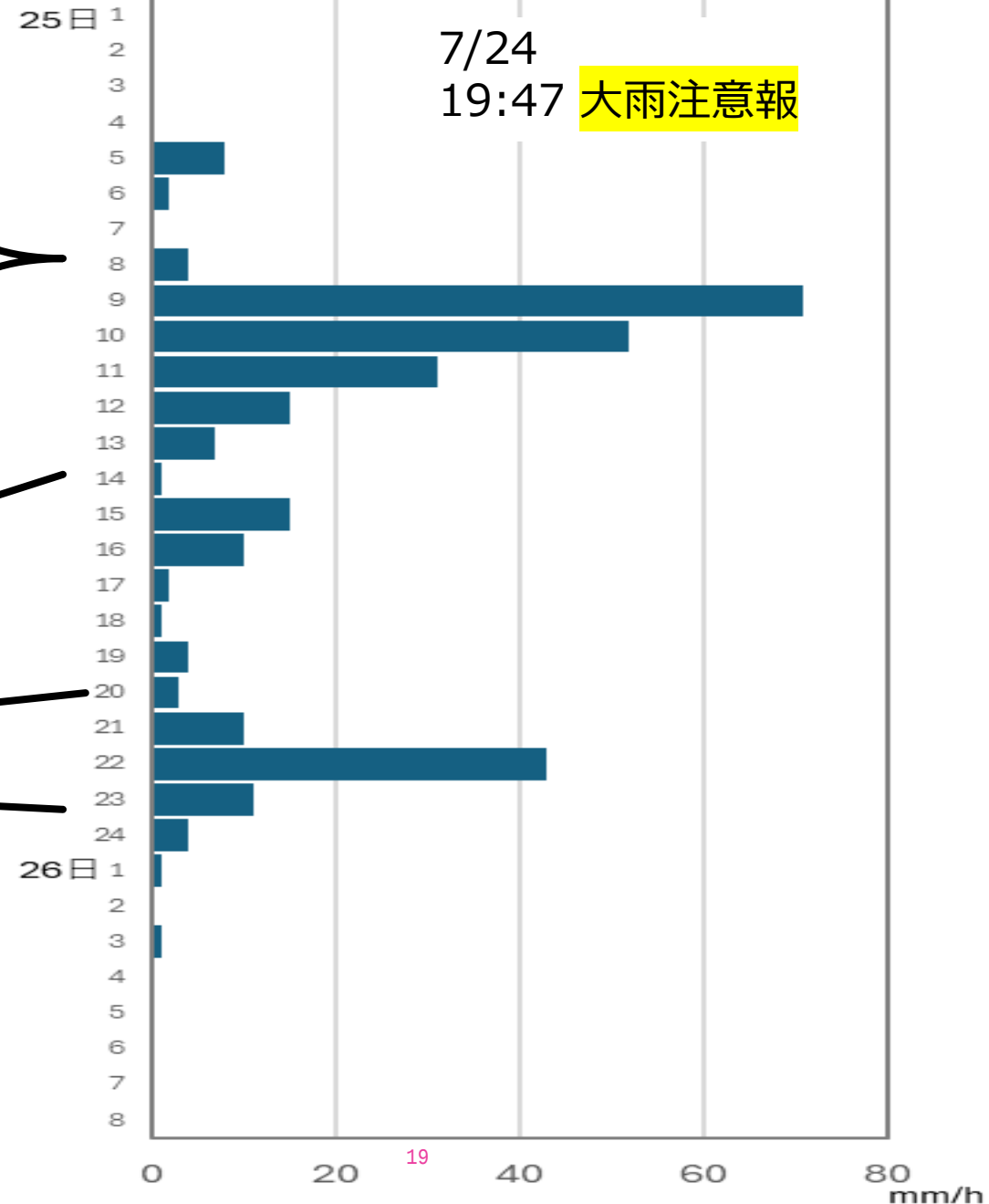
08:41大雨警報 (土砂, 浸水)

洪水警報

13:05大雨特別警報 (浸水)

20:10大雨警報 (土砂, 浸水)

23:40大雨特別警報 (浸水)



7/24
19:47 大雨注意報

(2) 改訂前の学校防災マニュアルについて

- ・ 災害発生後に焦点が当てられており、事前の備えに対する意識が十分ではなかった。
- ・ 実際の災害を想定した見直しがなされておらず、現状との乖離が見られた。
- ・ 警戒レベルに対する考え方が、学校現場に十分浸透していなかった。

風水雪害・土砂災害の発生の恐れあり

各種最新情報の収集
学校周辺の安全確認

各種警報発表

各種措置、対応の判断

<在校時>

○授業打ち切り

○集団下校

○保護者等への引き渡し、待機

<在宅時>

○休校措置

○時間指定登校等（すぐに気象情報が解除される場合）

☆朝6時の段階で暴風（雪）警報や記録的短時間大雨情報、土砂災害警戒情報が発表され、児童生徒の登校に危険が想定される場合は、休校、または自宅待機とし、緊急連絡する。前日に想定できる場合は、前日に連絡する。

【保護者連絡係】（名前明記）

☆気象情報を確認し、道路情報や交通機関の

今回の豪雨のような場合でも、**引き渡すことが前提**とされていた。また、待機とはあるものの、保護者が迎えに来るまでの間との認識である。

（市教委からの指示・指導による場合もある）

☆在校時は、各種情報（気象情報、目視等）から下校の措置を判断する。危険が想定される場合は、必ず学校待機とする。状況により、安全な階へ避難する。

(3) 改訂後の学校防災マニュアルについて

- ・ 災害発生前の段階から**情報収集**を行い、対応を検討すること。
- ・ **留め置く**ことを前提にすること。
- ・ **地域との情報共有関係**を日常より構築。
- ・ **警戒レベルに応じた対応**の具体化、フローチャートの作成。

【各種判断のための情報収集チェックリスト】

- ☐ ①今後の状況への見通し 早期注意情報（警報級の可能性） 気象庁
- ☐ ②学区周辺の気象情報 気象庁
- ☐ ③学区周辺のキキクル（土砂、浸水、洪水） 気象庁
- ☐ ④学区内にある河川の氾濫状況（指定河川のみ該当）
気象庁、国土交通省、各都道府県
- ☐ ⑤各区市町村のホームページの災害情報
- ☐ ⑥学区内で道路が冠水しやすい場所等の目視確認（教職員、地域住民）
- ☐ ⑦その他の地域住民（CS設置校は運営委員住民、消防団、自主防等）
等からの情報
- ☐ ⑧市教育委員会からの情報
- ☐ ⑨近隣の学校との相談

- ○引き渡しができる条件
- ○通常下校または集団下校ができる条件

	警戒レベル	警戒レベル相当 気象庁等から発表				
	避難情報 3以上は市長発令	大雨情報	キキクル (土砂)	キキクル (浸水)	キキクル (洪水)	氾濫情報
5	緊急安全確保	大雨特別情報	災害切迫	災害切迫	災害切迫	氾濫発生情報
4	避難指示	土砂災害警戒情報	危険	危険	危険	氾濫危険情報
3	高齢者等避難	大雨警報・洪水警報	警戒	警戒	警戒	氾濫警戒情報
2	大雨注意報・ 洪水注意報	大雨注意報・ 洪水注意報	注意	注意	注意	氾濫注意情報
1	早期注意情報 (警報級の可能性)	早期注意情報 (警報級の可能性)				

警戒レベル5 命の危険 ただちに安全確保！

～ レベル4までに必ず避難 ～

警戒レベル4 危険な場所から全員避難

警戒レベル3 危険な場所から高齢者等は避難